

# EXPO 2005 AICHI

だより

No.

# 12

2001年(平成13年)4月24日号



堺屋太一(さかいやたいいち)氏  
 生年月日 昭和10年7月13日  
 出生地:大阪府 本籍:奈良県  
 東京大学経済学部卒業(1960年)後、通商産業省入省。日本万国博覧会を担当したり、沖縄開発庁に出向中は沖縄海洋博を手がけた。通商白書では「水平分業論」を展開し、世界的に注目された。また、在職中に執筆した小説「油断!」がベストセラーとなった。1978年に退官後は、執筆、評論活動に入った。1985年に出版した「知価革命」は世界9カ国語に訳され、90年代の世界を予言した書として国際的評価を得た。(財)アジアクラブ理事長、中央省庁等改革推進本部顧問、国会等移転審議会委員、税制調査会委員、阪神・淡路復興委員会委員などを歴任。1998年7月より2000年12月まで経済企画庁長官を務める。

現在、内閣特別顧問。

(右から)記者会見に臨む、堺屋太一博覧会協会最高顧問、豊田章一郎博覧会協会会長、坂本春生博覧会協会事務総長

3月19日、「第13回理事会・評議員会」が名古屋市内で開催され、元経済企画庁長官で作家の堺屋太一氏が(財)2005年日本国際博覧会協会の最高顧問(非常勤)に正式に就任いたしました。就任挨拶の中で堺屋最高顧問は、より良い愛知万博実現のため、厳しい中にも熱意あふれる言葉で、愛知万博への並々ならぬ意気込みを述べました。今後は愛知万博のコンセプト並びにストーリー創りやプロデューサーの人選など、重要事項への助言、指導をいただくこととなります。



## 堺屋太一氏が博覧会協会最高顧問に就任

コンセプト・ストーリー創りなどに助言・指導

### 第1回愛知万博推進最高会議

理事会・評議員会の後には、愛知万博の事業推進の重要事項に関する主要事業関係者間の協議・調整を行うことを目的とした「第1回愛知万博推進最高会議」が開催され、「万博は一大文化事業である」という認識のもとに、協会、各関係者が役割をきちんと果たし、あらゆる障害を乗り越えてみんなで協力していくことなどを確認しました。

愛知万博推進最高会議メンバー：

平沼赳夫経済産業大臣、神田真秋愛知県知事、松原武久名古屋市長、増岡錦也瀬戸市長、加藤梅雄長久手町長、鈴木公平豊田市長、安部浩平中部経済連合会会長、磯村巖名古屋商工会議所会頭、豊田章一郎博覧会協会会長、坂本春生博覧会協会事務総長、堺屋太一博覧会協会最高顧問



### CONTENTS

堺屋太一氏が博覧会協会最高顧問に.....	1
愛知万博事業の基本原則について.....	2
財務委員会が資金集めを開始.....	2
平成13年度の博覧会協会組織.....	3
企画調整会議が終了.....	3
フォローアップ会議を開催.....	3
愛知万博開幕まであと4年.....	4・5
・瀬戸市「スプリングフェスタ」	
・中部経済産業局 ・長久手町	
・「ながくてエキスポフェスタ2001」	
・「春姫道中」	
愛知万博開幕1500日前イベント.....	6
THE MUSIC EXPO 2001.....	6
領域型展示ビジュアルシステム.....	7
トヨタ博物館に「Lantern Car」 螢.....	7
愛知万博市民プラザ開設.....	8

### 21世紀の新しい文化の提案のために 愛知万博事業に関する基本原則を策定

(財)2005年日本国際博覧会協会は、今後の事業の運営についての基本的な考え方として、「愛知万博事業に関する基本原則」を策定しました。

#### 愛知万博事業に関する基本原則

2005年3月25日～9月25日までを会期に、瀬戸市、長久手町、豊田市を会場とし、「自然の叡智」をテーマとする2005年日本国際博覧会(愛知万博)は、1,500万人をこえる来場者を目処に以下の項目の原則に沿って開催します。

- 1 愛知万博は21世紀の新しい社会のモデルになる文明の創造と新しい文化の提案を目的とし、全世界への発信と未来への発言の場として開催します。
- 2 愛知万博のコンセプトについては、以下の8点を考慮のうえ策定します。
  - 1 自然と人間の幸せな調和
  - 2 環境負荷の低い社会、循環型社会のモデル
  - 3 生命・宇宙などの未知の自然へのアプローチ
  - 4 情報化の徹底した実用化と新たな実験
  - 5 楽しく魅力的な高齢化社会の提案
  - 6 中部及び日本の産業技術力の発揮
  - 7 アジアの国々を可能な限り包含した世界各国の文明文化の対話
  - 8 外国政府、日本政府、自治体、企業とあわせて、市民参加の様々な形態の追求
- 3 愛知万博会場の自然豊かな特色を生かし、会場全体をオープンな展示場として新しい発想で魅力的に設計運営するとともに、展示館、催事場などの一過性の施設は可能な限り短工期、低コストとし、ハードに過度に依存することなく展示、催事の企画内容でソフト中心に集客を図ります。
- 4 愛知万博の会場の印象をより鮮明にし、かつ2005年の開催の精神を語り継ぐため、永久的記念碑となるシンボルを建設します。



「愛知万博事業に関する基本原則」を発表する、豊田章一郎博覧会協会会長と坂本春生博覧会協会事務総長

- 5 愛知万博会場へのアクセスは出来る限り多様なルートを準備し、各ルートのバランスのとれた利用システムを開発します。
- 6 愛知万博開催前、または愛知万博開催会場以外の展示・催事、その他多様な行事との幅広い広域連携を図ることにより、万博効果を最大にします。
- 7 愛知万博の予算については、採算性を必須条件とし、会場建設費1,350億円は当初予算を出来る限り削減し、運営費550億円については、出来る限り収入を増加する方向で運営します。
- 8 以上を実現するため最高顧問・総合プロデューサー制度を導入し、高い見地と広い視野から事業全体を統括するとともに、博覧会協会事務局は巨大な文化事業の推進にふさわしい柔軟で機動的な組織体として運営します。
- 9 愛知万博の事業関係者が完全に一体となって一つの方針・目標の下に円滑に事業を進めるため、中央官庁、地元自治体、地元経済界、博覧会協会の代表者と最高顧問からなる「愛知万博推進最高会議」を設けます。

### 財務委員会を設立。愛知万博の資金集めが本格的に始まりました

(財)2005年日本国際博覧会協会では、会場建設費の一部を民間の団体・企業から幅広く寄付金として募集するため、2月8日に財務委員会(委員長:荒木浩経団連副会長)を設立し、本格的な資金集めが始まりました。

#### これまでの経緯

- 00.09.19 愛知万博のBIE登録申請が閣議決定される。(会場建設費総額は1,350億円を見込む)国、地方自治体、民間等で1:1:1で負担することは平成7年12月の閣議で了解済み)
- 00.12.15 愛知万博の登録申請がBIE総会で承認される。
- 01.02.08 第1回財務委員会総会開催。(団体・企業からの募集目標額が230億円と決定される)

- 01.02.21 第1回財務委員会実行委員会開催。(団体・企業ごとの具体的な寄付金依頼額が検討される)
- 01.03.09 今回の募金は指定寄付金として取り扱う旨、財務省から告示される。

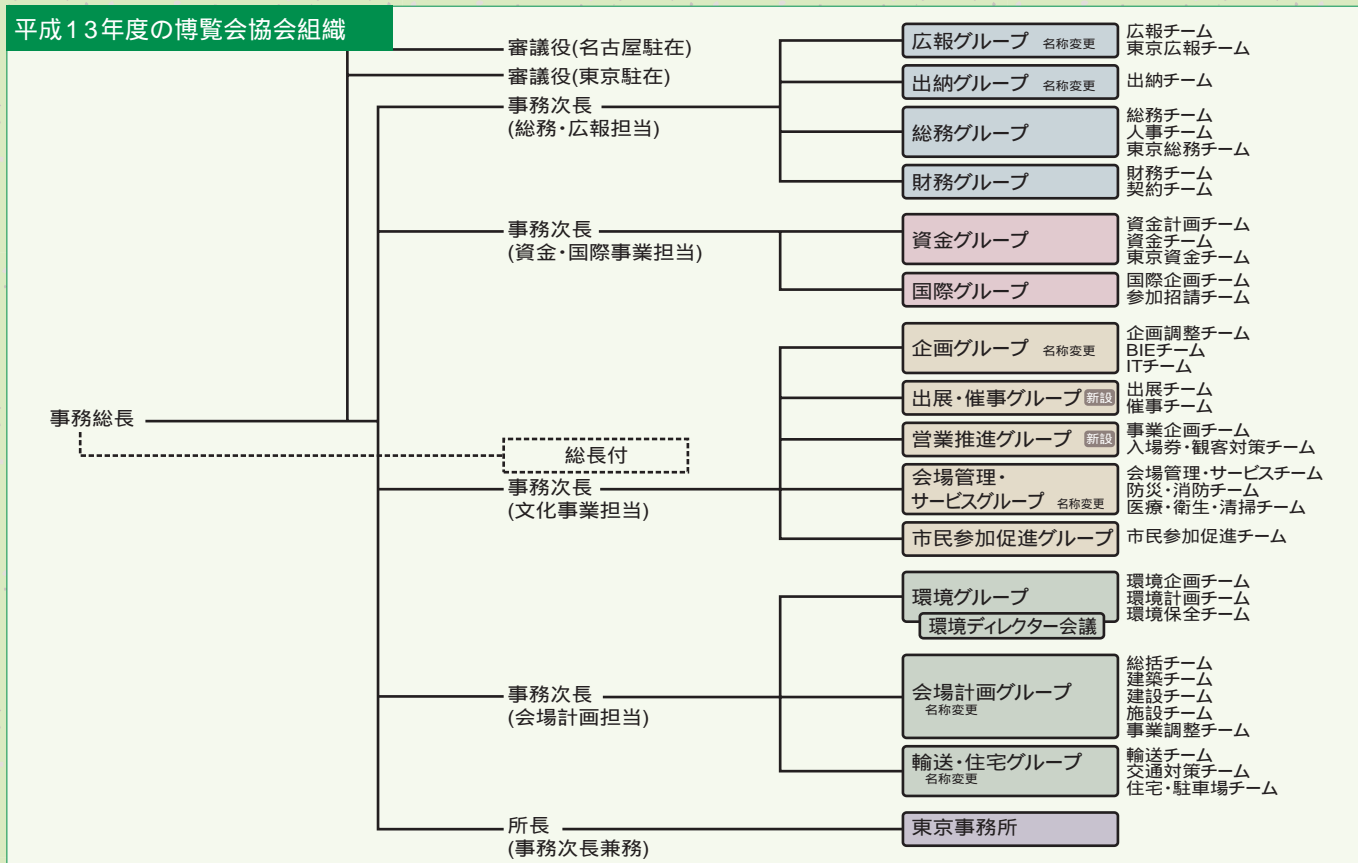
#### 寄付・相談窓口

- 名古屋事務所:資金グループ  
(Tel:052-569-2106, Fax:052-569-2100)
- 東京事務所:資金グループ  
(Tel:03-5521-1608, Fax:03-5521-1618)



## より効率的な組織体制へ。博覧会協会事務局の組織を改編

平成13年度は、博覧会開幕4年前となり、開催準備が本格化する年となります。限られた経費の中でより簡素で効率的な体制を目指し、本年度の博覧会協会は、みなさんにとって、もっと身近で分かりやすい組織へと変わります。



## 役割を終え、企画調整会議が終了しました

3月21日に「第14回企画調整会議」が開催され、最高顧問に就任した堺屋太一氏も参加し、これまでの検討状況と今後の方向性について活発な議論をいただきました。なお、愛知万博のテーマ展開や会場計画の策定など事業の企画運営の中核的役割を果たしてきたこの「企画調整会議」は、昨年12月のBIE登録を節目に役割を終え、今回をもって終了しました。

企画調整会議後に開かれた概要説明



## 自主的に参加し意見を交換 フォローアップ会議を開催

愛知万博検討会議の解散後に、委員のみなさんの自主的組織として設立されたフォローアップ会議の初会合が3月22日に開かれました。会合の中では堺屋最高顧問の就任までの経緯や今後の事業の方向性、検討会議で議論された会場計画

との整合性がどのようになるのかなど、活発な意見交換がなされました。

なお、議長には宇佐見大司氏、副議長に萩原喜之氏が選出されました。

# フィールドミュージアムを宣言 瀬戸で、EXPO2005スプリングフェスタ

4月15日に2005年日本国際博覧会瀬戸地区協議会の主催で瀬戸市市民会館駐車場において、EXPO2005スプリングフェスタが開催されました。このイベントは愛知万博に対する理解や関心を高めていた

のうららかな日を二日楽しみました。また、博覧会をきっかけにまち全体を美術館・博物館に見立て、魅力あるまちづくりを進めるフィールドミュージアム市民宣言も行われました。



「フィールドミュージアム」の市民宣言を行う  
増岡錦也瀬戸市長と市民のみなさん



ステージでは、マーチの演奏やダンス、和太鼓の演奏などが披露されて、愛知万博に向けた期待感が高まっていました

# 新緑の中にそびえ立つ グリーンのお目見え の広報施設が

愛知万博をPRする広報施設が名古屋市中区三の丸にある中部経済産業局の玄関前に完成しました。高さ6メートルの緑色の柱には万博のロゴマークが描かれており、柱の周り

は中部地域が誇る、高度な産業・技術、芸術・文化、豊かな自然、歴史・伝統を表現した4枚のプレートで飾られていて、春空に良く映える美しい広報施設になっています。



# あと4年になりました

## カラフルなながくての文字 が春を演出します 長久手町で愛知万博の広告塔が完成

愛知万博の会場予定地のついで、長久手町では、2カ所に愛知万博をPRする広告塔が完成しました。広告塔には愛知万博のシンボルマークとカラフルなながくての文字が描かれており、愛知万博開催に向けて、期待と希望が表現されています。また、図書館通りの道の両側に並ぶ約100基の照明灯にも、成功させよう愛知万博と書かれた、パナーを一言に飾り付け華やいだ雰囲気になりました。



図書館通りの岩作北山交差点にある広告塔



長久手町役場前にある愛知万博の広告塔



図書館通りのパナー

イベントの会場になった長久手町役場前



「愛知万博の会場予定地である愛知青少年公園の地元で開かれるイベントに感謝しています」と、挨拶をする安井博覧会協会事務次長(写真中央)



愛知万博開幕4年前となる3月25日に「ながくてエキスポフェスタ2001」(EXPO 2001)が長久手町役場前で開催されました。このイベントは町民のみならず、愛知万博への関心をさらに高めていただくと同時に、参加意欲を高めていただくために開催されたもので、当日は朝方の悪天候にも関わらず、家族連れなど3000人もの方々が参加し、大いに盛り上がりました。

「ながくてエキスポフェスタ2001」



(左から)除幕式に臨む森(前)愛知県国際博推進局長、坂本博覧会協会事務総長、市川中部経済産業局長、奥村(前)名古屋市総務局理事

中部経済産業局の玄関前に建てられた愛知万博の広報施設



愛知万博開幕まで

平成の世に蘇る時代絵巻、  
「春姫道中」に  
万博隊が参加しました

尾張藩主・徳川義直のもとにお興 入られた春姫の嫁入り風景を再現する「第7回春姫道中」が4月15日に行われました。この春姫道中は焼失した名古屋城の本丸御殿の再建を目指し、誘致の頃から愛知万博を応援いただいている、本丸御殿フォーラムの主催で行われた



春のやわらかな日差しが春姫の美しさを引き立てます



「万博隊」も参加し、愛知万博をPR

## きれいな街で来客を迎えます

「愛知万博開幕1500日前カウントダウンイベント」で美化キャンペーンを実施

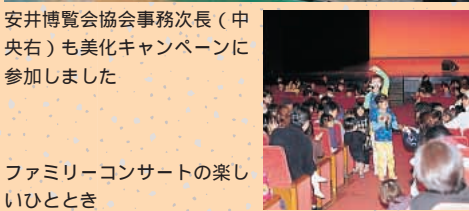
2/11(日・祝)



早朝から美化キャンペーンのために集まっていたみなさん



安井博覧会協会事務次長(中央右)も美化キャンペーンに参加しました



ファミリーコンサートの楽しいひととき

同日の午後からは、美化キャンペーンに参加いただいたみなさんを、愛知芸術文化センター大ホールでの「タイムレンジャー」「マイちゃん」と子お姉さん「長久手フィルハーモニー管弦楽団」「トウインクルベルズ」のコンサートに招待し、楽しい一日を過ごしていただきました。

2月14日は愛知万博開幕の1500日前となり、2005年日本国際博覧会カウントダウンイベント実行委員会 EXPO2005地球市民の会、愛知県博覧会協会の主催で、1500日前カウントダウンイベントが開催されました。カウントダウンイベントの皮切りに、1月下旬から2月初旬にかけて、犬山市、長久手町、刈谷市、豊橋市、二宮市、春日井市、豊田市、常滑市、瀬戸市、大府市の愛知県内10カ所の公園で、美化キャンペーンを行いました。2月11日にはキャンペーンの最後を締めくくって、名古屋市中区栄の久屋大通公園で大勢の親子連れのみなさんが北のリバーパークから南のエンゼル広場までの約1.5kmを楽しく清掃し、拾ったゴミは、愛知万博のシンボルマークの形に置かれた10個のゴミ箱に分類しました。



長久手フィルハーモニー管弦楽団のみなさんの演奏



親子で久屋大通公園一帯のゴミ拾いをしました

## 愛知万博を音楽でサポート

「THE MUSIC EXPO 2001」

2/28(水)

3/1(木)



寄贈していただいた愛知万博のタブエストリー



中部電力の岡島豊広部長から安井俊夫博覧会協会事務次長へと贈呈が行われました

2月28日と3月1日の両日、中部電力株式会社主催の愛知万博支援コンサート「THE MUSIC EXPO 2001」が名古屋市・栄の愛知芸術劇場で開かれました。これは愛知万博の成功を音楽を通して応援しようとして開催されたもので、服部克久氏の総合プロデュースのもと、名古屋フィルハーモニー・ポップスオーケストラが演奏を担当、松崎しげる、渡辺真知子、サーカスカルロス菅野、林英哲、THE MUSIC EXPO 2001市民合唱団が出演。2日間で約3200人が、自然との共生をイメージした演奏会を楽しみました。また会場では愛知万博事業に役立てる目的でチャリティー募金が行われ、愛知万博を応援するタブエストリーにメッセージも寄せていただきました。



広い会場は来場者のみなさんでいっぱいになりました



愛知万博のシンボル旗の登壇に、会場からひと際大きな拍手が起りました

3/4(日) 領域型展示ビジュアルシステムに  
小学生がトライ!  
愛知万博はどんな展示になるんだろう

3月4日に、愛知万博の会場予定地である愛知青少年公園で、地元の小中学生が参加し、領域型展示ビジュアルシステムの実証実験を行いました。これはIT(情報技術)を活用して屋外をそのままの状態で見学空間にする方法として前年度から研究を進めてきたものです。

今年の実証実験を盛り上げる実験コンテンツのテーマは、「森の王国」。とらわれた王子を救い、森の自然を敵から守る」というストーリーに沿ってスタートしたゲームは、2チームで対戦するロールプレイング形式で、各チームはコンピュータを装着したベストウェアラブルコンピュータをつけ、図鑑やインターネットでクイズに答えながら指令を出す。「バックス」と、その指令を受けながら目的を探し回る「フォワード」に分かれて、人工衛星の電波で自分の位置を確認するGPSと、携帯テレビ電話やiモードなどの複合技術を使いながら、1時間ほどかけて無事に王子を救い出すことに成功しました。

この領域型展示は、環境に負荷の少ない新しい展示技術として大いに注目されています。愛知万博ではIT技術などを活用したどんな楽しい展示が行われていくのか、ぜひご期待ください。

1時間ほどのゲームの最後に、無事に王子を助け出す宝箱を見つけました



インターネットや図鑑などを使ってクイズに答えながら、仲間に指示を出すバックスプレーヤー

今回の「領域型展示ビジュアルシステム」の実験に参加してくれた小学生

フォワードプレーヤーはウェアラブルコンピュータを装着。GPSや携帯テレビ電話、iモードなどを使って新しいゲームを楽しみました

4/17(火) Lantern Car「螢」を  
実際にご覧いただけます

和紙でできた環境にやさしい電気自動車として、昨年のドイツハノーバー国際博覧会に出展されて世界中の人々から称賛を受けた「Lantern Car」(ランタンカー・ほたる)が、愛知県長久手町のトヨタ博物館に展示されています。この「Lantern Car」(「螢」)は、愛知万博のテーマである「自然の叡智」を具現化した出品として、大きな関心が寄せられました。この機会に、ぜひ一度ご覧になっ

てください。なお、去る3月31日と4月1日には、同博物館で、環境にやさしい「東Eカー」の普及を目指す「Eカー・フェスティバル2001」が開催され、「Lantern Car」(「螢」)も展示されました。同博物館内のテストコースでは、国内で初めてのパレード走行を行い、訪れた多くのファンに楽しんでいただきました。



上：トヨタ博物館で大勢の人々に公開されています

右：トヨタ博物館のテストコースを走行する「Lantern Car「螢」」



# みなさんの情報交換・ 交流の場に活用ください

## 愛知万博市民プラザが開設

愛知万博へ参加意欲のある市民のみなさんに、積極的に情報交換・交流をしていただくため、愛知県の全面的な協力を得て4月16日に「愛知万博市民プラザ」を下記の通り開設いたしました。この市民プラザは公募されたボランティアの方々を中心に運営され、市民のみなさんで構成される市民プラザ支援委員会の助言のもとに、より利用しやすいものにしてまいります。



ミーティングスペース、コピー機、パソコン、プリンタ、レターケースなどが用意されています



開所式でテープカットを行う。(左から)坂本博覧会協会事務総長、河内愛知県副知事、久能木中部経済産業局総務企画部長

**住所**  
〒460-0002  
名古屋市中区丸の内二丁目4番7号 愛知県産業貿易館西館2F

**名称**  
愛知万博市民プラザ

**利用時間**  
平日 午前10時から午後8時  
土曜日 午前10時から午後5時  
日曜日、祝祭日、年末年始は休日です。

**利用基準**  
愛知万博の推進に関連した会議、打ち合わせまたは情報収集・提供の利用であること。以下のような場合は愛知万博市民プラザを利用できません。  
人権やプライバシーを侵害する恐れがあるもの  
政治、宗教を目的とするもの  
営利を目的とするもの  
その他、愛知万博市民プラザの趣旨に合わないと思われるもの

**利用方法**  
愛知万博市民プラザでは、ミーティングスペース、コピー機、パソコン、プリンタ、レターケースなどの施設があります。ミーティングスペースの予約は来訪、電話、FAX、E-mail、いずれの方法でも承ります。利用は予約優先です。この他、詳細については電話にてお問い合わせください。  
問い合わせ先  
TEL.(052)218-7351 FAX.(052)218-7350  
E-mail expo-p1@eos.ocn.ne.jp

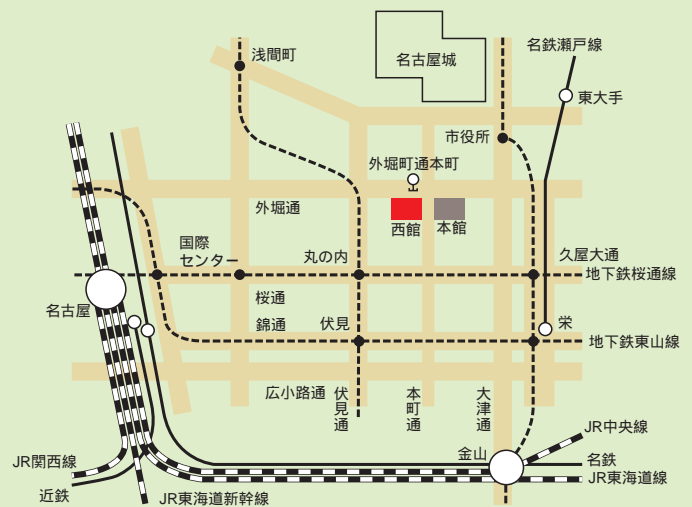
**交通機関**  
地下鉄 桜通線「丸の内駅」下車(4番出口) 徒歩10分  
名城線「市役所駅」下車(4番出口) 徒歩10分  
鶴舞線「丸の内駅」下車(1番出口) 徒歩10分  
名城線・桜通線「久屋大通駅」下車(1番出口) 徒歩13分  
市バス 名古屋バスターミナル(JR名古屋駅東口北)1番乗り場 幹名駅1または4・6番乗り場 名駅14系統に乗車、「外堀町通本町」下車すぐ

**その他**  
車でお越しの方は、産業貿易館地下の有料駐車場をご利用ください。ご利用方法に関する詳細は、電話にてお問い合わせください。



いよいよ開設された愛知万博市民プラザ

パソコンを使って情報を収集していただけます



発行/財団法人2005年日本国際博覧会協会  
発行日/2001年(平成13年)4月24日 編集/橋本孝 部数/150,000部

**R100**  
この印刷物は、再生紙(古紙含有率100%)を使用しています。

**名古屋事務所**  
〒450-0002 名古屋市中区名駅三丁目15-1  
名古屋ダイヤビルディング2号館4階  
Tel.052-569-2005 Fax.052-569-2100

**東京事務所**  
〒100-0011 東京都千代田区内幸町二丁目1-1  
飯野ビル7階  
Tel.03-5521-1601 Fax.03-5521-1607

ご意見をお待ちしております

**EXPOの耳**

インターネットホームページアドレス  
<http://www.expo2005.or.jp>

「EXPOの耳」Eメールアドレス  
[voicebox@expo2005.or.jp](mailto:voicebox@expo2005.or.jp)